

三勲小だより

令和2年12月10日(木)



<全校朝会(12月7日(月))の話> (校内放送)

おはようございます。これは何でしょう。おせち料理みたいだけど玉手箱でしたね。皆さんは、これまで『た・ま・て・箱』の合言葉で「体温を計る」「マスクをつける」「手洗いをしっかりする」を頑張ってきましたね。この三つは新型コロナウイルス感染症だけでなくインフルエンザや風邪の予防にも効果的です。また、鼻やのどに湿り気をもたせるためにもマスクは朝からきちんとつけて登校しましょう。

さて、これを見てください。これは11月19日に起きた事故の様子を伝えた新聞です。香川県の川津小学校の6年生が乗っていた修学旅行用の船が、海の岩にぶつかって沈没するという事故が起きました。

太陽が沈み始め、辺りが暗くなり始めたころ、船にガタンと強い衝撃があったと思うと、水が船に入ってきて始めたのです。子どもたちは、まず船のデッキや屋根の部分に上って助けを待っていました。やがて船が沈み始めたため、多くの子どもは海の中に飛び込み、残った子どもはそのまま船の屋根の上で身を寄せ合って「船は海の中に沈んでしまうのかな。誰か助けに来てくれないかな。」と思いながら助けを待っていました。幸い近くにいた漁船や海上保安庁の船が助けに行き、全員助かることができたそうです。

次の日の新聞に、このとき漁船で助けた漁師さんのこんな話が載っていました。「泣きべそをかいた子どもおったけど、慌てず、子ども同士で励まし合っていた。午後5時すぎ、全員を船に乗せて助けた。近くの島に子どもたちを下ろして、船で離れようとしたとき、後ろから『ありがとうございました。』と大きな声がした。あの子たちだったら、この先何があっても大丈夫だと思った。」

校長先生は、この新聞記事を読んで、命がなくなるかもしれないいへんな時に子どもたち同士で励まし合ったこと、助けてくださった方々に「ありがとう。」のお礼の言葉を忘れなかったことの2つに感動しました。

これは何か分かりますか。オルゴールの部品です。鳴らしてみますよ。♪小さい音でしょう。一生懸命回してみます。でも、音は大きくなりません。でもこうやって木の板をあてると、とても大きくきれいな音が響きます。♪♪ 私たちは一人で生きているではありません。学校ではたくさんの人と一緒に生活しています。オルゴールに板をあてるときれいな音が響いたように人に寄り添ったり力を合わせたりすると、一人ではできないことができるようになったり大きな力になったりします。この事故のようにたいへんな時はもちろんですが、普段の学校生活でも自分から人に優しくしたり助け合ったり協力したりして過ごしましょう。

今週は人権週間で、委員会の人たちによる人権の放送もあります。また、先週は「人権スポーツふれあい教室」で、2年生が岡山シーガルズの選手の方たちにバレーボールを教してもらったり人に優しくすることについてお話を聞いたりしました。いつも仲よくしている人だけでなく、誰にでも思いやりの気持ちをもつことはとても大切なことです。もちろん人に迷惑をかけたり、人が楽しく生活することを邪魔したり嫌な気持ちにしたりすることは許されることではありません。友達の楽しい気持ちや頑張ろうという気持ちが大きくなるような声かけができるといいですね。また、皆さんはパトロール隊の人などいろいろな方にお世話になっています。この記事の子どもたちのように、自分から進んで「ありがとうございます。」と感謝の気持ちを言葉に出して伝えましょう。

2学期もあと14日学校に来たら終わりです。この板でオルゴールの音が美しく響いたように、自分から人に寄り添い、仲よくしていきましょう。そして、思いやりの心、助け合う心、感謝の心を大切に過ごしましょう。

